

はねっと



仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



仙台をワクワクさせる人物をご紹介します

子どももサンタも 笑顔にするために 奮闘する大学生サンタ

NPO 法人チャリティーサンタ 仙台支部

かわた ゆうと
代表 河田 裕人 さん(22)

東北福祉大学4年生の河田裕人さんは、チャリティーサンタ仙台支部の代表として「サンタ活動」を運営しています。この活動では、依頼のあった家庭から寄付金とプレゼントを預かり、サンタクロースに扮したボランティアが子どものもとにプレゼントを届けます。寄付金は、経済的な困難を抱える家庭の子どもへ無償でクリスマスプレゼントを届ける活動や、世界中の子どものための様々なチャリティー活動に活用されます。河田さんは「サンタクロースは、誰かを笑顔にしたい気持ちそのものです。自分のためにサンタさんが来てくれたという思い出を、どんな子どもにも平等に届けたい」と話します。イブ当日は河田さんもサンタに変身。事前に家族から聞いた情報をもとに、その子が今年1年頑張ったことなどを褒めながらプレゼントを渡します。

また、ボランティアの貴重な時間を各々の成長や新しい経験につなげるため、参加するメンバー一人ひとりと面談を実施。活動での役割分担や苦手分野のフォローにも気を配っています。

2020年6月から代表になった河田さん。メンバーに気を配るのは、活動を通じて自身が成長を実感できたから



です。「大学生から社会人まで様々な年代のメンバーと関わる中で、新しい人間関係や知識が広がった」といいます。また、「実はあまり乗り気ではなかった」と話す、サンタ衣装を着ての実際の活動では、「みるみる顔を輝かせる子どもたちを見て感動した」と振り返ります。「自分がそうだったように、活動してよかったと思える機会をメンバーに提供したい」と奔走しています。

「メンバーと力を合わせ、子どもたちへ届ける思い出が、将来その子を支える力になれば」と、今年もサンタになって街を駆けまわります。

NPO 法人チャリティーサンタ

HP <https://www.charity-santa.com>

「世界中の子ども達を笑顔に」というコンセプトの元、2008年から「サンタ活動」と「チャリティー活動」の2つの軸で活動しています。当初は途上国への教育支援をメインに行ってききましたが、東日本大震災以降、国内の子どもの貧困や被災など、様々な困難を抱える家庭・子どもへの支援も行っています。





市民活動突撃レポート！

東北吃音ネットワーク 代表 いしかわ だいち 石川 大智さん

東北の吃音者を孤立させないために

きつおんしゃ
「吃音者のための居場所づくりをしたい」と話すのは、仙台を拠点に活動する東北吃音ネットワーク代表の石川大智さん。自身も吃音当事者です。吃音とは、話し言葉が滑らかに出ない発話障がいの一つで、特徴的な症状は次の3つ。同じ音を連発する「かかか からす」。音を引き伸ばす「かーーらす」。発音までに時間がかかる「……からす」です。

石川さんは、「吃音が原因で、子どもの頃から、からかいやイジメにあってきた人は、自己肯定感が低く、うつ病や社交不安症を併発することが多い」と話します。また「子どもの頃は、学校からの支援があり、居場所がある場合もあるが、大人になると無くなるため孤立してしまう」とも。このことから、団体の支援対象は大人です。正しい情報を発信し、医療や福祉の現場へつなぎ、交流する機会をつくっています。団体の立ち上げは2019年8月。きっかけは、吃音者同士が励まし合い、情報交

交流会では、吃音に関する書籍を手に取ることができます。▶



換をする当事者会が東北には少なかったことでした。団体名には、団体同士で連携して、東北に支援の輪を広げていきたいという願いを込めました。

現在、吃音の支援情報をまとめたリソースブックを作成中です。今後、団体のホームページ上でも公開していきます。

東北吃音ネットワーク

HP: <https://stutteringnet-tohoku.jimdosite.com/>



活動現場から、「このたびカタチになりました」

みんなの子育てエピソードを物語として共有できる劇を上演します

「仙台・劇のまちトライアルシアター」は、新しい舞台作品やその作り手が生まれるきっかけをつくらうと始まった演劇企画です。せんだい演劇工房10-BOXと、舞台芸術分野で活躍する人々との協働で2019年から実施しています。2020年は「子育て」をテーマに、現在子育て中、もしくは子どもを対象に演劇活動をしているメンバーで企画を始動。子育てでのうれしいこと・辛いことなどをFacebookで募集し、エピソードをもとに制作した短編動画を6月からYouTubeで配信してきました。その総まとめとして、これまで配信してきた動画を1本の舞台作品として構成し、上演します。



公演名:「子育ていろいろ 晴れときどき嵐」

日時:2020年12月 26日(土)16:00~ / 27日(日)11:00~、16:00~

会場:せんだい演劇工房10-BOX box-1

料金:1000円

※未就学児入場不可。有料託児サービス有(先着順、500円/子ども1名) 予約・お問合せは、ホームページをご覧ください ▶



お役立てください

死にたいほどつらい気持ち、おろしませんか?「そっとの森」開催

内容:誰にも自分の想いを語れない孤独、自死や自殺を思うほどに苦しい気持ち…そのような想いにそっと寄り添い、自分らしくいられる時間や空間、場所を提供しています。参加は無料です。

日時:12月12日(土)・2021年2月

24日(水)、14:00~16:00

対象:死にたいほどつらい気持ち、

苦悩を抱えている方(定員10名)

場所:浄土真宗本願寺派仙台台院 教化センター



東北自死・自殺相談センター(とうほくSotto)

事務 大野:080-3193-7726

代表 高橋:090-4880-1203

MAIL: tohoku.sotto@gmail.com



仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。

「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 12月9日(水)、23日(水)
年末年始の休館日 12月29日(火)~1月3日(日)

開館時間 月曜日~土曜日 9:00-22:00
日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

[ツイッター] @SCSC4CA

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



「ばれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行 仙台市市民活動サポートセンター
(指定管理者:特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2020年12月1日

デザイン PEACE Inc.

「ばれっと」紙面についてのお知らせ

新型コロナウイルスの影響により、社会情勢の変化が著しい中、市民活動の現場で起こっている状況に柔軟に対応するため、2020年7月号より紙面構成を変更しています。引き続きご愛読よろしくお祈りします。